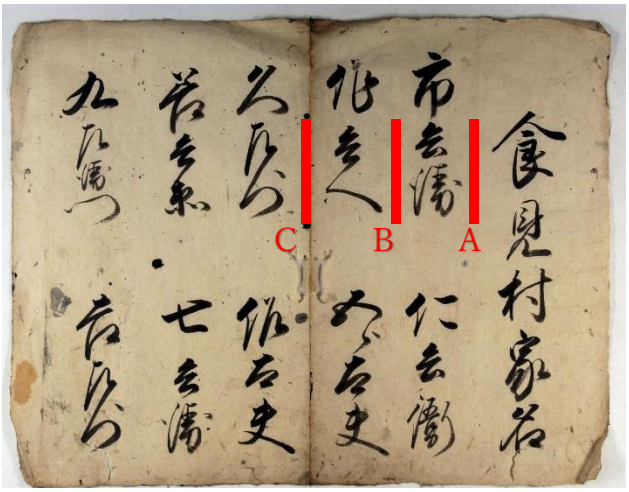
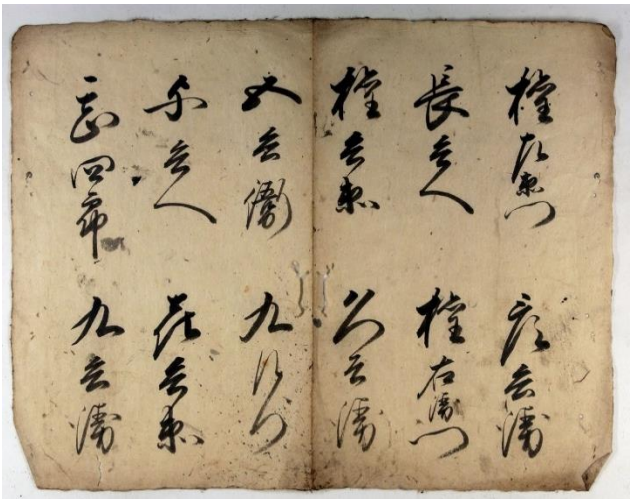
福井県文書館　くずし字入門講座　No.2　テーマ「人名・地名」第1問　（全16問（No.1からNo.4まで各4問）。毎週土曜日に新しい問題を配布します）

若狭町　桜井市兵衛家文書（手習手本断簡、食見村家名、人名、消息文）　N0055-00741　当館蔵　難易度★☆☆☆☆

食見村家名





解読のヒント

この古文書は、塩や桐実油づくりとその販売を生業とした桜井市兵衛家（現若狭町）に残された手習い手本の一部分です。ここでは子どもの住んでいる食見村の百姓名が取り上げられています。

最初に出てくる赤線部Aの人物は「市兵衛」です。「兵衛」は、赤線部Bのように「～兵へ」と表記する場合もあります。では、赤線部Cは何と読むでしょうか。この形は他のいくつかの人名でも見られますね。「～兵衛」以外でよく登場する江戸時代の人名といえば・・・？

数字も人名にはよく用いられます。この資料中には「四」「五」「七」「九」の数字が登場します。特に「五」の判読がやや難しいので注意してください。

「左」と「右」の判別も重要なポイントです。筆順と下の部分の形（「エ」か「口」か）で判断してください。

市	兵	衛

作	兵	へ

久

善

権

長

与

甚

夫

夫

吉

彦

喜

お名前またはペンネーム

（添削をご希望される場合は、「お名前またはペンネーム」をご記入の上、閲覧室カウンターにご提出ください）

座学講座のお知らせ

7月5日(日)　12日(日)　19日(日)　23日(木)、10時30分～12時（午前の部）／13時30分～15時（午後の部）、於研修室、各回定員18名、要申込。

※午前と午後は同じ内容です。お申し込み時にご希望を伺います